



社労士のつぶやき(84) ～テレワークの労働安全衛生管理体制

数年前、アメリカ映画「ニューヨーク 愛を探して (2016年)」を観ていると、親子がノートPCを使ってテレビ電話で話しているシーンがあり、「SFだったっけ？」と驚いたことがありました。今では当たり前のオンライン通信ですが、日本ではコロナ感染拡大により急速に普及しました。アメリカでは既に普及していたのですね。

オフィスワークは、パソコンを使った業務が中心であること、会話はオンライン通信や電子メール、そしてデータはクラウド管理なら、理論上どこでも仕事が可能です。そのため、コロナによる緊急事態などの制限が無くなった昨今でもNTT主要7社で従業員3万人が原則テレワークで労使合意するなど、日本の職場でもテレワークが浸透しつつある状況です。しかし、この急激な変化に戸惑っている、というのが大半の人たちの正直な感想ではないでしょうか。

労働安全衛生法の第3章は、事業主に対し業種や規模(人数)によって総括安全衛生管理者、安全管理者、安全衛生推進者などを選任し、事業所の巡視や設備、安全教育等を実施することを義務付けています。これは労働災害が少ないオフィスワークも例外ではありません。この間、「コロナで一時的に」とか「便利で若者に適しているから」と大急ぎでテレワークを取り入れた会社も多いでしょうが、果たして「職場の安全衛生管理体制」を想定して導入した会社はどのくらいあるのでしょうか。テレワークで働く場合、大抵は在宅勤務になります。では、果たして従業員の自宅は「職場」なのでしょう吗？そしてネットカフェは？

厚労省の「テレワークにおける適切な労務管理のためのガイドライン(2021年)」には、在宅勤務中にトイレから戻ったときに転倒して負傷し、労災認定されたケースが紹介されています。勤務時間とプライベートの区別は？そのため「ずっとPCをつけておけ」など、家の中を四六時中覗かれるというプライバシーの侵害も生じています。またコミュニケーションの不足により、不安を感じた従業員へのケア等が十分議論されているとは思えません。さらにテレワーク従業員にも照度や室温、事務所の広さなど、安衛法で定められている基準や操作しやすいPC、デスクの高さなど細かい定めもあります。しかしワンルームで小さなテーブルしかない、デスクが入らない一人部屋をどうやって巡視して確認するのでしょうか？ガイドラインでは、アンケートとチェックリストが良い、としています。どうも課題が多そうです。

社労士事務所アジュール 高 龍弘

燃料カードの価格表【2022年12月分】

AMSカード ※共通利用可能

油種	ENEOS・Shell・COSMO
レギュラー	151.0円
ハイオク	161.0円
軽油	133.0円

【価格は税抜】

ENEOSビジネスカード

油種	ENEOS
レギュラー	151.0円
ハイオク	161.0円
軽油	125.0円

【価格は税抜】

全国共通・燃料カード ※カードはメーカーごとに発行

油種	COSMO	ENEOS	宇佐美
レギュラー	145.3～147.3円	145.8～147.8円	144.4～146.4円
ハイオク	155.3～157.3円	155.8～157.8円	154.4～156.4円
軽油	121.9～123.9円	125.3～127.3円	123.5～125.5円

【価格は税抜】

全国共通・燃料カード ※カードはメーカーごとに発行

油種	ENEOS ウイング'	FLEX & TRUST カード'(Shell)	TRUST & FLEX カード'(出光)	エネクスフリート
レギュラー	143.3～145.3円	145.9～147.9円	146.5～148.5円	141.7～143.7円
ハイオク	153.3～155.3円	155.9～157.9円	156.5～158.5円	151.7～153.7円
軽油	119.2～121.2円	125.4～127.4円	120.7～122.7円	120.7～122.7円

【価格は税抜】